

クラス番号	916	担当教員名	岡本 一美
テーマ	動き続けるNPOとの対話から学ぶ地域福祉		
ゼミナール概要			
<目的> NPO11団体が立ち上げた「中間支援組織」NPO法人地域福祉サポートちたで、NPOの人材育成と「地域協働」の基盤づくりに努めています。 ちた地域のNPOは、「困ったときはおたがいさま」を共通理念として、暮らしの課題を地域で共有、話し合い、学びあい、行動しながら「たすけあい活動」という「新しいしごと」を創りだして来ました。時代と共に変化する地域の課題を「仕方がない」とあきらめるのではなく「何とかしよう」と市民が行動した結果、現在では約40の団体がゆるやかなネットワークを形成しています。ここでは、市民が望む新しい暮らし方を提案しながら、楽しい仲間づくりと小さな拠点を増やし続けています。 「ふくし」は、弱者や社会保障、介護というだけでなく、地域に暮らす誰もが自分らしく幸せに生きていける「地域づくり」そのものです。動き続けるNPOの現場と対話しながら、課題を発見、整理、分析、考察し、望む社会を自ら創り上げるチカラを体得します。			
<内容> ちた地域のNPOネットワークの歴史、NPOそれぞれの思いと活動内容、後追いする福祉制度、市町ごとの協働や関係機関との連携、「ちた型地域包括ケア＝0～100歳の地域包括ケアのまちづくり」の実践等について概要を学び、個人の関心をもとに活動先を選択します。 子育て支援、教育、不登校ひきこもり支援、若者の就労支援、障害者地域生活支援、高齢者介護、まちづくりなど、全世代にわたる地域福祉の実践者である活動先の現状を調べ、所在地の課題、団体の課題を想定しながら、対策をグループごとに企画立案し、夏休み6日間に実践します。 活動前後に、NPOの職員との打合せや教室での話し合いや報告会を行い、他のグループの活動について共有しながら、多様な視点で自らの気づきや発見を確認し、地域福祉の視野を広げ、地域づくりへの関心と俯瞰力(ふかんりょく)を高めます。			
<学習計画> 4・5月 地域活動の実態把握(地域の課題、現場の課題を知る) 6・7月 地域貢献活動の企画(自分たちに何ができるかを考え、計画を立てる) 8・9月 NPOでの地域貢献活動(8・9月の6日間) 10・11月 活動のふりかえり(グループのまとめ、活動先NPOを交えてふりかえり会) 12・11月 グループ研究と活動報告会(グループ研究のまとめ)			
担当教員からのメッセージ			
みなさんが生まれ育ったこれまでの20年とこれからの10年では、予想もつかない劇的な変化があるでしょう。すでに、東日本大震災や頻繁に起こる風水害の被災地はもちろんのこと、人口減少と超高齢化による人口バランスの崩れがもたらす地域社会の困惑は、日本国中に広がりつつあります。これまでの生き方、暮らし方、働き方を見直し、新しい社会のしくみを創造していかなければなりません。みなさんの未来が明るく輝くものになるよう、先輩たちが始めた活動現場での体験を通じ、みなさんができることを考え、みなさんの将来を展望する機会としてください。			